

第108期 建設ディレクター育成講座カリキュラム【eラーニング】

企画：一般社団法人建設ディレクター協会（資格認定）

運営：京都サンダー株式会社

期間：2026年8月3日(月)～2026年9月25日(金)

試験日：2026年10月19日(月) ※講習期間外

講義形式：オンデマンド

講義時間：オンデマンド標準学習時間 30時間

※建設ディレクターに必要な5つのスキルを学びます

実施場所：受講生が勤務する会社他

受講料：33万円 受験手数料：1万1千円

NO.	テーマ	内容	オンデマンド配信期間	標準学習時間
1	建設業マネジメントⅠ	新しい職域建設ディレクターとは、建設ディレクターに必要な5つのスキルとは 社会情勢の変化と建設ディレクターの必要性、技術者の業務と建設ディレクターの業務、業務効率化とは 導入と定着に必要なこと（意識改革、連携体制、IT環境）事例紹介	8月3日(月)～9月25日(金)	3h
2	建設基礎Ⅰ	社会の動きと高まる建設業の需要、社会的役割 現場代理人の仕事とは（施工管理、技術的な監修、組織管理） 現場代理人の仕事とは（発注者対応、設計変更業務、工事成績等）		2.5h
3	建設基礎Ⅱ	建設工事と施工管理（施工計画・工程・品質、出来形理・原価・安全管理・環境保全） 施工管理の3大管理と相互関係 工程管理・安全管理・環境管理演習		3.5h
4	建設業マネジメントⅡ	建設ディレクター定着に求められる組織作り（チームビルディング） 組織作りに必要な専門知識（コーチング、アンガーマネジメント、パラダイム） パラダイムと組織マネジメント		3h
5	工事書類Ⅰ	建設現場とは、工事書類とその必要性 着手前、施工中、竣工プロセスのフローと必要な書類と作成の手法 工事写真の必要性、写真整理のフロー、クラウドによるデータ管理		5h
6	工事書類Ⅱ	電子納品、電子納品に付随するデジタル知識、電子納品ソフトの活用 共通仕様書、デジタル写真管理基準、CADソフトを使う上での注意点、フォルダ管理 BIM/CIMの電子納品		2.5h
7	入札と積算	建設業許可、経営事項審査 入札参加、総合評価、工事成績 積算とは、積算基準について、積算演習、積算ソフトの活用		6h
8	建設ICT活用	建設DXとは、電子黒板・遠隔臨場・ASP ICT活用の流れ（三次元起工測量、三次元設計、ICT建機による施工、出来形ヒートマップ等） ICT導入マネジメントの手法（3次元設計、ドローン、AI技術） BIM/CIMの活用の流れ、標準的なプロセス（基準要領・義務・推奨項目、モデル詳細度等）		4.5h

講習期間外

試験	建設ディレクター試験	2026年10月19日(月) 13:30～15:00
----	------------	----------------------------